

社会教育研究部門

「教育と公共」研究部会（第20回）

日時：2020年12月11日（金）13:00～16:10

場所：オンライン「ZOOM」で開催

出席：田嶋一・浅井幸子・上野正道・狩野浩二・仲田康一・藤井佳世 各兼任研究員
吉久知延・金沢千秋・川上智子・山口和人

内容：（1）仲田研究員の報告：英国の教育政策の展開と中等教育改革

① 報告の出発点

② 戦後初期の中等教育改革

- ・中等教育の義務・無償化（1944年教育法）→1948年に施行
- ・社会的平等主義と共通の中等学校の要求
- ・三分岐制への批判

③ 総合性中等学校教育学校の導入

④ 総合性中等学校の論理

第1：グラマー・スクールの拡大

第2：共通のカリキュラムによる共通の文化の醸成

第3：平等な社会の建設（メリトクラティックな社会を脱却、社会的統合のための学校へ）

⑤ 次回以降への課題

◆質疑応答

- ・総合性中等学校の論理第2と第3の違い、地域（イングランド・スコットランド・ウェールズ・アイルランド）による違い、ドイツとの違い等

（2）上野研究員の報告：シティズンシップの公共性のための民主的教育

——生徒が政治にかかわるということ——

① シティズンシップ教育と公共性

② グローバル化時代のシティズンシップ教育

③ 転換するシティズンシップ教育

④ 民主的なシティズンシップ教育と政治の主体

◆質疑応答

- ・ガート・ビースタをめぐる論議

・次回研究会は、1月14日（木）13時から、オンライン「ZOOM」で開催予定
報告者は浅井、藤井各研究員